

機器分析の黎明期を探る

機器分析は化学分析に対するイノベーションとして 20 世紀の前半に誕生しました。このシンポジウムでは、この機器分析のイノベーションに関わった起業家を中心にしてそれぞれの御立場からご議論を戴きます。このシンポジウムは機器分析の創業者の履歴を纏めた「機器分析の創業者たち」の出版を記念して行います。

開講日時	2010年9月2日(木) 13:00~16:30	(受付開始 12:30)
開講場所	幕張メッセ国際会議場 1階ファンクショナルルーム A	
募集定員	50名	
参加費	3,000円(事前申し込み)	
主催	特定非営利活動法人 分析産業人ネット	

ご注意：このセミナーは事前申し込み制です。定員になり次第、申し込みの受付を中止します。

プログラム

13:00~13:10 ご挨拶

13:10~14:00 「日本のイノベーションの特徴とその持続的発展について」

国立科学博物館 産業技術史資料情報センター 参事 清水 慶一

14:00~14:50 「大学の研究者サイドからみた起業家について」

東大名誉教授、元理化学研究所ゲノム科学総合センター所長 和田 昭允

休憩 14:50~15:10

15:10~16:00 「分析サービス業の黎明と近未来」

分析産業人ネット理事(元住化分析センター社長) 大塚 好恭

16:00~16:20 「機器分析の創業者たち：本の内容の紹介」

分析産業人ネット事務局長 小島 建治

16:20~16:30 質疑応答

